

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年5月31日

| | | | |
|-------|-----------|-----|-------|
| 1 事業名 | 健康づくり推進事業 | コード | 41301 |
|-------|-----------|-----|-------|

| | | | |
|--------|----------|----------|-----------|
| 2 担当部課 | 部等 健康福祉部 | 課等 健康推進課 | 作成者 百瀬ひろみ |
|--------|----------|----------|-----------|

| | | | | | |
|--------|------|------|--------------------|------|----------|
| 3 事業概要 | 目的体系 | 基本目標 | ともに支えあい、健やかに暮らせるまち | | |
| | | 政策 | 保健・医療の充実 | 施策 | 健康づくりの推進 |
| | | 予算科目 | 健康づくり推進事業費 | 業務委託 | なし（直営） |
| | | 実施義務 | あり（義務的・標準的事業） | 国県補助 | あり |
| | | 根拠法令 | 健康増進法 | | |

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等 *対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

| | | | |
|----------------|---|----------|---------|
| 事業の概要 （簡潔に） | 生活習慣病予防をはじめ、健康に関する正しい知識や情報を提供するため、健康づくり講演会や運動講習会、イベントや各種教室、健康相談等を実施し、健康の保持増進のための啓発を行った。 | | |
| 目的 | 対象者 | 市民 | |
| | 意図 | 健康の保持・増進 | 健康寿命の延伸 |

5 事業の実施内容 *29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

- 血管を守ろう！プロジェクト事業
 - 健康診断の受診率向上のための取組み
 - 母子保健事業での保護者に対する啓発実施（1歳6か月児健診・2歳にこにこ教室での受診勧奨）
 - 地区組織活動（保健委員会・食生活改善推進委員会）、健康づくり講演会等での周知・啓発の実施。
 - 講演会・講座の開催
 - 血管を守る健康講座
 - 6月3日（土）「誰でもできる 効果的なウォーキング&簡単筋トレ法」（松本大学大学院教授 根本 賢一氏）：参加者 180人
 - 2月27日（火）「気になる血糖値『知ろう！学ぼう！糖尿病』」（岡谷市民病院 糖尿病看護認定看護師 廣瀬 宏美氏・管理栄養士 宮下 祐子氏）：参加者 100人
 - 血管を守る学習会（地区保健委員会で開催）
 - 血管を若返らせる運動塾：21地区で実施 24回 延437人参加
 - 血管を若返らせる食生活：21地区で実施 17回 延306人参加
 - ハイリスク者への個別対応
 - 特定健康診査後の結果説明会の実施：実施者179人
 - 訪問等個別対応の実施：訪問実施者実人数 62人・面接実施者13人
- イベント・各種講座等
 - こころのサポーター養成講座：12月22日（金）・60人参加（五味法律事務所 弁護士 五味弘行氏）
 - その他の健康教育
 - ①口腔の健康：9回 延118人参加
 - ②乳がんの予防：1回 延27人参加
- 健康相談
 - 面接相談 50件
 - ダイヤル健康相談 265件
- 第3次健康増進計画策定事業
 - 策定委員会の開催 4回 延36人参加

前年度の課題への対応

- ・地区活動に対しては、ブロック担当保健師が活動支援を行った。
- ・健診後のハイリスク者フォローでは、対象者の抽出要件を見直し実施した。

6 指標の達成状況 *活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

| 区分 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度(予算) |
|--------------|---------------|-------------|-------|----------|
| ① 活動指標（指標名） | 開催回数 | | | 単位 |
| | 実績値 | 900 | 874 | 627 |
| | *指標の説明 | 各事業の開催回数の合計 | | |
| ② 成果指標（指標名） | 参加者数 | | | 単位 |
| | 目標値 | 3,887 | 3,930 | 3,639 |
| | 実績値 | 4,070 | 2,755 | 1,833 |
| | 達成度 | 104.7% | 70.1% | 50.4% |
| | *指標の説明 | 各事業の参加者数の合計 | | |
| *目標値の設定方法の説明 | 過去3年間の参加者数の平均 | | | |

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

| 区分 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度(予算) |
|---------------|--|------------|------------|------------|
| ① 直接事業費 | 3,184,240 | 2,279,741 | 981,177 | 1,344,000 |
| 経常経費 | 2,564,469 | 1,912,220 | 313,615 | 872,000 |
| 臨時的経費 | 619,771 | 367,521 | 667,562 | 472,000 |
| * 臨時的経費の説明 | 健康づくり講演会等講師謝礼 | | | |
| 区分 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度(予算) |
| ② 人件費 | 12,480,000 | 12,480,000 | 12,480,000 | 12,480,000 |
| 正規職員の人数(人) | 1.56 | 1.56 | 1.56 | 1.56 |
| ③ 合計コスト(①+②) | 15,664,240 | 14,759,741 | 13,461,177 | 13,824,000 |
| 前年度比 | | 94.2% | 91.2% | 102.7% |
| 財源 | 15,251,060 | 14,514,727 | 13,461,177 | 13,330,000 |
| 一般財源 | | | | |
| 内訳 | 413,180 | 245,014 | | 494,000 |
| 特定財源 | | | | |
| * 特定財源の説明 | 健康増進事業費県補助金 | | | |
| ④ 活動一単位あたりコスト | 16,716 | 16,467 | 20,404 | |
| 前年度比 | | 98.5% | 123.9% | |
| ⑤ コストに関する補足説明 | 健診後のハイリスク者の抽出方法を変更した結果、訪問等対象者が減少したこと、健康づくりのつどいの各年開催により29年度は開催せず参加者数分が減少したこと等による。 | | | |

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

| 補助金負担金名 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度(予算) |
|-----------------------|------|-------|-------|----------|
| | 件数 | | | |
| | 金額 | | | |
| | 件数 | | | |
| | 金額 | | | |
| | 件数 | | | |
| | 金額 | | | |
| | 件数 | | | |
| | 金額 | | | |
| ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合 | 合計金額 | 0 | 0 | 0 |
| | 割合 | 0.00% | 0.00% | 0.00% |

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---|----|-----|
| ① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。 | 1 | |
| ② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。 | 1 | |
| ③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。 | 1 | |
| ④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。 | 1 | |
| ⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。 | 1 | |

9 有効性評価

* 有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---------------------------------------|---------------------|-----|
| ① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。 | 1 | |
| ② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。 | 1 | |
| ③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。 | 1 | |
| ④ この事業の利用者が増加した。 | 成果指標の実績値 前年度比 66.5% | 0 |
| ⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 | 成果指標の目標値 達成度 50.4% | 0 |

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

| | | |
|------|---|---------|
| 課題 | <p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>第3次岡谷市健康増進計画策定にあたり第2次計画の進捗状況を指標により評価したところ、「若い世代の朝食欠食」「女性のやせ傾向」「運動習慣の定着」などの指標で改善がない状況であり、これらの内容を中心に、健康的な生活習慣の周知啓発を継続して行う必要がある。</p> | |
| 改善方法 | <p>(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>第3次岡谷市健康増進計画における各重点分野の基本目標を踏まえ、健康を支える栄養・食生活、身体活動・運動、歯と口腔の健康、こころの健康等について、健康的な生活習慣の実践のための周知啓発や、個別の保健指導・栄養指導等を継続して実施する。</p> | |
| | 改善開始時期 | 平成30年4月 |

●次年度の計画 (PLAN)

| | | | |
|-----------|--------|---|---|
| 11 次年度の方針 | 継続して実施 | 12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること | B |
|-----------|--------|---|---|